



# まごころ通信

平成31年1月31日発行

編集・発行 教育総務課

### 教育長 コラム ⑤



「個性に優劣なし」と申します。例えば、AさんとBさんの個性を比較して、どちらの個性が優れているか・劣っているかと両者を比較できるものではありません。定型の木箱に形や大きさが異なる材料を入れようとしても、木箱から四方八方へはみ出す材料は入りません。無理やり箱に押し込めようとする、長い材料などは曲がったり、折れたりしてしまい、素材の良さが失われてしまいます。

でも、「風呂敷」なら、大きさや長さからはみ出しても個々の素材そのままを生かし、傷つけることなく柔軟に包み込みます。個性に応じた指導、一人ひとりを大切にする教育とは、指導者が子供たちを一定の型に押し込め、詰め込むような定型の木箱の教育ではなく、子供たちの多様性を受け入れ、個性を認め、豊かに生かし包み込む「風呂敷の教育」ではないでしょうか。



## 神奈川県教育委員会表彰

### (永年勤続職員表彰)伝達式

永年勤続職員表彰は、公立学校等での継続勤務期間が25年以上の職員を、神奈川県教育委員会教育長が表彰するものです。毎年12月1日に発令され、小田原市では例年、伝達式を挙行し、教育長から伝達を行っています。

本年度は12名の教職員が永年勤続職員表彰を受賞されました。



←受賞者と教育長

↑教育長祝辞

## 神奈川県優秀授業実践教員表彰

### 実践教員表彰

11月21日に、千代中学校の山田 ななえ先生が県優秀授業実践表彰(第一部門)を受賞され、同月29日に教育長を表敬訪問しました。

この表彰は、教員の人材育成施策の一環として、学校教育における授業実践に優れ、教員の模範として推奨すべき教員を表彰する制度で、平成19年度から県教育委員会により行われています。



千代中葉畑校長、受賞者山田先生と教育長



@石井 結花

## 教育委員の活動

# 西湘地区教育委員会連合会研修視察に出席しました！

### 東芝未来科学館



手をつなぐと2人とも髪が逆立ちました



静電気体験



西湘地区教育委員会連合会は西湘地区の2市8町の教育委員会で構成されている会です。

毎年研修視察を行っており、今年度は、各市町の教育長、教育委員、事務局あわせて36名が参加し、東芝未来科学館と神奈川県立総合教育センター（善行庁舎）を視察しました。

東芝未来科学館では、過去、現在、未来にわたり科学、技術を分かりやすく展示した施設で、最新の技術や、日本の電気・電子技術の歴史について説明いただきました。実際に体験できる展示もあり、参加された委員からは「子供たちの理科離れが言われて久しい中、非常に有意義な体験ができ、これからの教育委員会の取組に活かしていきたい」との意見をいただきました。

神奈川県立総合教育センターでは、センター長から施設の概要を説明いただき、施設全体の見学や、実際に行われている研修の見学を行いました。また、図書館では、センターで保管されている昔の各市町の教科書や指導書も見ることができ、参加された方からは、「今のものと比較すると、その変遷は興味深く、参考になった」との声も聞かれました。

11/14

からくり人形（茶運び人形）



総合教育センター



センター長の挨拶



図書館の見学



@須藤 美咲

## 教育委員のひとこと



教育長職務代理者  
わだ しひろ  
和田 重宏

「子供とタネ」

「ミリにも満たない小さな粒のタネには可能性を秘めた固有の情報がいっぱい詰まっています。」

たとえば、少し大きな柿のタネを土に埋めておくと、光や温度などの諸条件が整えば芽を出し成長します。何年か経つと幹が太り、枝を張り、花を咲かせ、たくさんの実をつけます。子供たちはその木に登って実をとり、多くの人たちがそれを食べて喜ぶます。このように外見上何の変哲もない一粒の柿のタネには時空を超えた無限の可能性がすでに内包されています。

このことは未来を生きる子供にもタネと同じことが言えます。一人ひとりの子供には一生という無限の広がりがある。環境を整え、その可能性を実現する働きが教育の役割ではないでしょうか。